

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

北朝鮮の遠隔教育体系

2019年5月4日付『朝鮮新報』は、「普段に改善発展する朝鮮の遠隔教育体系」と題した記事で、北朝鮮において各職場でインターネット技術を利用した大学の通信教育体系が普及している様子を報じている。

朝鮮労働党中央委員会政治局会議開催

2019年5月5日付『朝鮮中央通信』によれば、同月4日、金正恩国務委員長が咸鏡南道金野郡にある金野江第2号発電所を訪問した。金正恩委員長は「金野郡で、地元の特性に即して中小型水力発電

所を建設して電力問題を解決すべきだ」という党政策を敏感に受け入れ、自力で発電所を建設し、電気生産を正常化するために準備をしているのは評価すべき成果である」と話し、他の地区と比較すれば成功裡に中小型発電所が建設されたと評価した。

中央裁判所代表団がラオス、ベトナム訪問

2019年5月13日付『朝鮮新報』によれば、康潤石中央裁判所所長を団長とする中央裁判所代表団がラオスとベトナムを訪問し、両国の最高人民裁判所、最高裁判所所長らと会談を行うとともに、両国と司法部門での交流と協力に関する覚書を交わ

した。

勤労団体連合会議開催

2019年5月13日付『朝鮮中央通信』によれば、同日、平壤市の人民文化宮殿で、金日成-金正日主義青年同盟、朝鮮職業総同盟、朝鮮農業勤労者同盟、朝鮮社会主義女性同盟の各中央委員会が参加する勤労団体連合会議が開催された。

金才竜総理の元山葛麻海岸観光地区建設現場と黄海製鉄連合企業所訪問

2019年5月14日付『朝鮮中央通信』によれば、金才竜総理が元山葛麻海岸観光地区建設現場と黄海製鉄連合企業所を現地了解(訪問)した。

慈江道江界市に医療用酸素供給施設建設

2019年5月14日発『朝鮮中央通信』によれば、慈江道江界市に新たに慈江道保健酸素供給所が建設され、医療用酸素の供給を開始した。

深刻な干ばつ

2019年5月15日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮では干ばつが深刻で、2019年1～5月上旬までの全国平均降水量は54.4ミリと平年（128.6ミリ）の42.3%に過ぎなく、最悪であった1982年の51.2ミリに次ぐ少なさで、2014年の55.8ミリがそれに続くとのことだ。

金正恩委員長が慈江道の軍需工場を訪問

2019年6月1日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が慈江道江界市にある将子江工作機械工場、江界トラクター総合工場、江界精密機械総合工場を訪問した。これらの工場は北朝鮮を代表する軍需工場であるが、金正恩委員長の工場での発言を見ると、予備資材や生産ラインを活かしてさまざまな製品を生産することを促すものが多く、自力更生を貫徹するために、名門工場であっても例外なく内部予備の動員を通じた生産増加を求めていると考えられる。

また、金正恩委員長は江界市と満浦市の建設総計画を指導したことも報道されており、金才竜総理が総理就任前に党委員会委員長を務めた慈江道を重視していることがうかがわれる。

金正恩委員長が平南機械総合工場を訪問

2019年6月1日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長が平安南道价川市にある平南機械総合工場を訪問した。

マスゲーム「人民の国」開幕、金正恩委員長が観覧

2019年6月4日発『朝鮮中央通信』によれば、同月3日、平壤市のメーデースタジアムでマスゲーム「人民の国」の開幕公演が行われ、金正恩国務委員長が観覧した。

平壤春季国際商品展覧会開催

2019年6月4日付『朝鮮新報』によれば、同年5月20～24日、平壤市で第22回平壤春季国際商品展覧会が開かれ、450社が出展し、中国、ロシア、パキスタン、タイ、イタリア、ポーランド、マレーシア、キューバ、モンゴル、シリア、インドネシア、ニュージーランド等19カ国から270社強の外国企業が出展した。外国企業の数、は、去年の2.5倍に増加し、大宗が中国企業であったが、パキスタンから9社が出展して注目されたとのことだ。

ロシア極東・北極圏開発相訪朝

2019年6月8日付『朝鮮新報』によれば、ロシアのアレクサンドル・コズロフ極東・北極圏開発相が同月6日から北朝鮮を訪問し、翌7日には万寿台議事堂で、朝口政府間貿易、経済および科学技術協力委員会が

開かれ、北朝鮮側からは金英才対外経済相が出席した。

習近平主席が労働新聞に寄稿

2019年6月19日付『労働新聞』に、中国の習近平国家主席が「中朝親善を継承し、時代の新たな章を刻み続けよう」と題する寄稿文が掲載された。

同寄稿文で、習近平主席は「朝鮮の同志たちと一緒に手を取り合って努力し、地域の恒久的な安定を実現するための壮大な計画と一緒に作成するための用意があります。」「われわれは朝鮮側および当該側と共に、意思疎通と調整を強化し、朝鮮半島問題と関連した対話と交渉において進展が成し遂げられるよう共同して推進することにより、地域の平和と安全、発展と繁栄のために積極的に寄与します。」などと朝鮮半島問題の解決のために中国が積極的に努力する姿勢を強調した。

習近平主席が訪朝、金正恩委員長と面会、会談

2019年6月21日、22日発『朝鮮中央通信』によれば、中国の習近平国家主席が同月20日～21日に北朝鮮を訪問し、同20日、金正恩国務委員長と会談を行った。同日夕方には両首脳が共にメーデースタジアムでマスゲーム「人民の国」を観覧した。その後、晩餐会が行われ、翌21日には両首脳が朝中友誼塔での花束贈呈を行った後、午餐会が行われた。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘